

特集

夏休みに新しい本との出会いを。

読書の時間を大切にしましょう。
一冊の本との出会いがあなたの生き方を変えてくれることだってあります。
(ジョセフ・マーフィー)



すべて良き書物を読むことは、
過去の最もすぐれた人々と会話を
かわすようなものである。
(デカルト)

子どもたちにとって夏休みは、自分の時間を自由に満喫できるうれしい時間です。お祭りや海水浴、旅行に行く人もいるでしょうが、この休みを利用して、本との出会いを楽しんでみませんか。たくさん本のの中には、きっと自分にあつた本との出会いが待っているはずです。

本の中には、おどろくほど様々な世界が広がっています。冒険したい人、新しい発見をしたい人、物語を楽しみたい人、それぞれの人により広い世界を知ることができるでしょう。また、同じ本を読んでも、人によって感じ方やとらえ方はちがいます。そこが本の面白さでもあります。

本は友だちであり、あなたのみちしるべとなります。きつと相談相手にもなってくれます。たくさん本を読んで知識を身につけ、新しい一歩を踏み出しましょう。

この夏休みはテレビやゲームからはなれ、読書を通じて知らなかった世界へ冒険してみてはいかがでしょう。

須崎市立図書館

図書館のおすすめの本

精霊の守り人

女用心棒バルサを主人公に、人の世界と精霊の世界を描いたファンタジーシリーズ。

赤毛のアン

美しいプリンス・エドワード島の自然の中で、元気で前向きなアンが巻き起こすゆかいな事件の数々。

にちよういち

日曜日には、高知城の近くに朝どれの野菜やくだものがなぶ市がたちます。土佐弁で書かれているのも楽しみなところ。

大どろぼう ホツツエンプロッツ

おばあさんの大切なコーヒーひきが盗まれてしまいました。相手は大どろぼうのホツツエンプロッツ?!

からすの おかしやさん

「からすのパンやさん」からずいぶん月日がたち、赤ちゃんだった4ひきのからすが大きくなりました。おいしいおかしがたくさん出てきます。

